

中華人民共和國

まだ見ぬ君へ…



▲昨年行われた「ゆめのくにの
おんがくかい」

「ゆめのくじのおんがく」
は、障害を持つ人たちを中心と
なつて、自分たちの手でつくり
上げる音楽会です。ことしの実
行委員の皆さんは、障害を持つ
人たちを中心にして、初の一
般公募により集まりました。「自分たちの
手で音楽会を盛り上げてこせた
い」と、みんな気に運んでくれた
人たちばかりで、十一月三日の中
「ゆめのくじのおんがく」に
向けて着々と準備を進めてこま
す。

どもまさ。支援スタッフやボランティアの人たちと一緒に、当日の音乐会を心待ちにしながら、楽しく仕事をしています。実行委員会副委員長の紅林友子さんは「参加者の一人一人が主役になれて、見に来てくれた皆さんにも一緒に楽しんでもらえるような、会場が一つになれる音乐会になつたらいいなと思います。今まで頑張つて練習してきた成果を一生懸命に発表する皆さんの姿は、本当に明るく楽しそうで、とても生き生きしています。今までも多くている姿を見てもらいたいと思います。そして、これがきっかけの人にも来てもらつて、頑張つている姿を見てもらいたいと思います。となり、障害を持つ人たちがどんどん外に出ていくつて、社会参加ができるようになつていったうれしいですね」と話してくれました。

P
16

ゆめのくにのおんがく



▲実行委員会の皆さん

ユーバは、音楽の低音部分を支える一番大きな金管楽器。中学生のとき、吹奏楽部の先生に勧められたのがきっかけでチューバを始めた望月さんは音楽の土台を作るおもしろさに引きされ、それ以来チューバを演奏し続けています。

現在はユーフォニウム・チューバアンサンブルのほか、静岡交響楽団に所属。アンサンブルではことし、全国で初めて行われた「ユーフォニウム・チューバ四重奏コンクール」において見事一位に輝きました。また、音楽指導法などを榎原達教諭から学んでいて、母校の東海大学付属翔洋高校などで講師として活躍しています。

富士市では、十一月一日の富士市民大学で、講師として優れた演奏を披露しました。望月さんは「今回の市民大学をきっかけに、市内でも活動の幅を広げ、富士市を拠点に全国

各地で活動をしていきたいです。自分の演奏を聴きたいと思つてくださる人がいたら、どこへでも出向いて演奏をしたいですね。これから、音楽指導法の勉強も力を入れていきたいと思つています。後輩たちに、自分の持つているものをお教えることで逆に教えられることが多く、勉強にもなります。また、自分自身も、指導力のある先生方のもとで勉強できることを、とてもうれしく思っています。

A black and white photograph showing a close-up of a person's hands and fingers as they play a large brass instrument, possibly a tuba or a bassoon. The instrument has a shiny, metallic bell and a complex system of valves and tubing. The hands are positioned over the instrument, with fingers on the valves and a mouthpiece held in place.

チユーバは、オーケストラでは出番の少ない楽器。活動の場を探している人は大勢いると思します。そういう人たちとも演奏活動がしていけたらいいなと思ひます」と話してくれました。

富士市では、十一月一日の富士市民大学で、講師として優れた演奏を披露しました。望月さんは「今回の市民大学をきっかけに、市内でも活動の幅を広げ、富士市を拠点に全国

奏し続けています。現在はユーフォーウム・チューバアンサンブルのほか、静岡交響楽団に所属。アンサンブルではことし、全国で初めて行わされた「ユーフォニウム・チューバ四重奏コンクール」において見事一位に輝きました。また、音楽指導法などを神原達教諭から学んでいて、母校の東海大学付属翔洋高校などで講師として

A large, stylized orange heart shape with a black outline. Inside the heart, there is a black, cursive script that appears to read "I love you". The heart is set against a white background.

チューバ奏者として活躍中の 望月洋次郎さん

